

コード	301030301
記入日	H23.6.9

課コード	132
課名	若松診療所
課長名	山本 一光
担当者	荒木 哲郎

事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	若松国保診療所管理運営事務費
----------	----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 ー 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	1
施策コード	301	施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実	項コード	1
基本事業コード	30103	基本事業名称	地域医療体制の充実	目コード	1
事務事業コード	3010303	事務事業名称	国民健康保険診療所特別会計事業費	細目コード	
関連計画	医療体制再編計画		法令・条例規則等	新上五島町国民健康保険診療所条例	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標						
(対象1) 通院可能地区の住民		(対象指標1) 約3,400名						
(対象2)		(対象指標2)						
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		<ul style="list-style-type: none"> 光熱費・委託料等の一般管理費：8,541千円 研究研修費：168千円 薬剤購入等の医薬費：22,168千円 給食材料等の給食費：1,053千円 施設整備費：1,457千円 		①	*****	100%	診療日数+診療予定日数	*****
				(達成率分析)	当初計画どおりに診療することができた。			
				②				
				(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）						
				(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
				①	*****	31.4%	延べ入院患者数・昨年度延べ入院患者数	*****
				(達成率分析)	医療再編計画に基づき、平成22年10月から入院病床が廃止となったため。また、その時期に向けて入院患者の受け入れを抑制したためと思われる。			
				②	*****	89.2%	延べ外来患者数 / 昨年度延べ外来患者数	*****
				(達成率分析)	地域内人口の減少と、専門医受診の傾向が強まっていること。また、入院病床の廃止も影響しているものと思われる。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降	
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	①	日	365	365	365	365					
	②										
成果指標	①	人	25,223	20,552	19,980	1,824	572				
	②	人	91,591	86,798	75,463	12,701	11,335				
総事業費 C (A+B)	千円	1,583,215	1,578,350	1,400,108	183,107	178,242					
直接事業費 A	千円	953,215	948,350	861,108	92,107	87,242					
人件費 B	千円	630,000	630,000	539,000	91,000	91,000					
内訳	従事職員数	人	90.0	90.0	77.0	13.0	13.0				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円		1,400			1,400				
	その他	千円	401,306	395,462	290,477	110,829	104,985				
一般財源	千円	1,181,909	1,181,488	1,109,631	72,278	71,857					

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	地域の医療を充実させ、医療に対する不安を解消するために必要である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	人口減少等により受診者数は減少傾向にあるが、地域医療の維持のために事業を廃止することはできない。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	地域住民の健康の維持・増進のためであり適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	地域医療の確保という面で成果をもたらしている。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	医療内容、医療機器の整備、待ち時間の短縮など、患者のニーズに合わせたサービスの提供により可能である。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	地域住民の健康に対する不安の増大、利便性の低下による経済的・精神的負担の増加などが懸念される。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	他に類似事業はない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	事業費に大きな割合を占める医薬材料費をはじめ、物品の購入・委託契約等において見積り徴収などにより可能な限り経費削減を行っており、これ以上の削減は事業効果にも影響を与える恐れがある。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	退職看護師の不補充・嘱託職員化等により可能である。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	医療保険制度に則っており、受益者負担は適正である。

改善

改善策	1次評価	妥当性	地域住民の健康の維持・増進のためには今後も事業を継続していく必要がある。
		有効性	地区にとって唯一の医療機関である。
		効率性	現在の施設を管理運営していくためには、これ以上の経費の削減はできない。
		課題に向けた改善策	基本的に現在の運営形態を維持するものであるが、上五島病院や奈良尾診療所との連携も考慮していく。
	2次評価	妥当性	住民の医療サービスの確保のためにも妥当である。
		有効性	町の医療再編計画により平成22年10月から入院部門が廃止されたが、外来診療体制については引き続き十分な体制をとり、地域住民サービスの低下とならないよう努めること。
		効率性	入院部門が廃止され、今後もより効率的な運営体制を図っていくこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。